

大型公共事業をあらため 暮らし・福祉優先に

4人で全力



村井あけみ



高木たけし



土屋ともりのり



式部 昌子

福山市が運営するごみ固形燃料工場（RDF工場）は、施設の維持のために、毎年巨額の費用が必要です。さらに、RDF事業は、RDFの供給量と処理委託に関する費用が15年契約であらかじめ設定されているため、ごみ減量の努力に関係なく、一定額を計画に従って支払う仕組みです。

そのため2009年度は、約1億6千万円もの税金を、RDFを処理している（株）福山リサイクル発電に余分に払いました。さらに計画では、今後もこの状況が続きます。同社はこの年度に、約4億4千万円の経常利益を上げていますが、ごみが減少しているにもかかわらず、

処理委託料を余分に支払う、運営会社は利益を増やすというあり方は、市民理解が得られません。RDF事業計画の見直しを求めました。また、これからのごみ処理について、大量生産・大量消費・大量焼却を前提としたRDF事業から撤退し、市民参加で新しいごみ



RDF工場を視察する日本共産党市議団＝箕沖町、11月19日

処理法を検討するよう迫りました。

ゴミ

RDFはごみ減量に逆行 事業から撤退し 市民参加で新しい処理法を

民主党政権が2012年度からの介護保険制度見直し方針を示しました。その中身は、介護保険サービスの対象を重度に限定し、軽度の人を保険から外していくもので

す。要支援1・2の人は、市町村の判断で介護保険サービスの対象から外され、市町村独自の配食サービスなど地域支援事業に移します。公約だった「国の財政負担引き上げ」は見送り

に。これでは保険料負担の増大と介護サービス後の悪循環です。国に、方針撤回と負担軽減・サービス向上を求めること、市独自で利用料を引き下げること求めました。

介護

軽度者切り捨てはゆるせない！ 安心できる介護保険に

また、保育料は、利用時間に応じたものに変え、認定時間を超えると全額自己負担内容です。また、保育料は、利用時間に

は、福山市の実施責任の下、児童の福祉向上と保護者の就労支援に大きな役割を果たしている」との見解を表明し、「これまでも保護者のニーズに応えた質の高い保育サービスを提供し、待機児童ゼロを継続している」と答えました。

そして、「子ども・子育て新システムなどの改革は流動的で、国の動向を注視する」と答弁しました。

1万3234筆の請願署名を市議会に提出する保護者、保育関係者11月26日



保育

「子ども・子育て新システム」にストップを！ 公的保育を破壊する

日本共産党福山市議団は、市民運動と力を合わせ、住民のみなさんの切実な願い実現のため、12月定例市議会でも力をつくしました。本会議の代表質問には、土屋ともりのり議員が立ちました。いくつかの貴重な成果も得られました。市民のみなさまにご報告いたします。



土屋ともりのり 議員 代表質問